

# PLAZA CREATE

---

## 2018年3月期 決算説明会

---

**新たな企業体質への変革を加速**

2018年05月22日

株式会社プラザクリエイト本社

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）：7502

# 目次

I . 2018年3月期 業績について

II . 2019年3月期 取組みについて

# I . 2018年3月期 業績について

1.

## <プリント事業>

デジカメプリントは昨年同様に減少トレンドであるが、最大の商戦である年賀状プリントは前年102.9%と好調となり、結果として既存店前年比は100.0%で着地。

新サービスおよび新事業に向けた自社大型工場の新設など、プリント事業の再成長への礎を築く年であった。

2.

## <モバイル事業>

通信キャリアの施策変更に対応して、人材を強化し積極的な販売推進策を実施して店舗運営力の強化に取り組む。ストック収益も堅調に推移して利益に貢献。

### 【モバイル店舗の出店状況】

ソフトバンクショップ 5 店舗、ワイモバイルショップ 4 店舗

店舗リニューアル（ソフトバンク＋ワイモバイルの合同ショップ） 4店

先行費用により営業利益は減少、減損損失により当期純利益は赤字

(単位：百万円)

	2018年3月期			2017年3月期	
	実績	構成比	前期比 増減額	実績	構成比
売上高	22,172	100.0%	181	21,991	100.0%
売上総利益	8,095	36.5%	△ 429	8,524	38.8%
販売費及び一般管理費	8,034	36.2%	△ 384	8,418	38.3%
営業利益	61	0.3%	△ 44	105	0.5%
経常利益	93	0.4%	268	△ 175	-0.8%
当期純利益	△ 58	-0.3%	△ 12	△ 46	-0.2%

プリント事業はFC化による想定通りの減少、モバイル事業は店舗数増加に伴い純増

(単位：百万円)

	2018年3月期 (2017年度)			概況
	当期実績	前期実績	前期比増減額	
プリント事業	8,264	9,533	△ 1,269	・直営店48店舗のFC化と72店舗の退店で △1,526M
モバイル事業	13,907	12,446	1,461	・既存店販売台数前年比95.9%となるも、店舗数が前年より9店舗増加した事で売上高は前年超え
合計	22,172	21,991	181	

※前期実績の合計は、その他事業の10百万が含まれています

プリント事業は持分法の差額、モバイル事業は先行投資でのコスト増

(単位：百万円)

	2018年3月期 (2017年度)			概況
	当期実績	前期実績	前期比増減額	
プリント事業	△ 286	△ 569	283	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社大型工場立ち上げ費用含む</li> <li>・3Q組織再編等により発生した経費含む</li> </ul>
モバイル事業	379	396	△ 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9店舗の新規出店費用を含む</li> <li>・通信キャリアの施策変更に対応した人材強化と積極的な販売促進のためコスト増</li> </ul>
合計	93	△ 175	268	

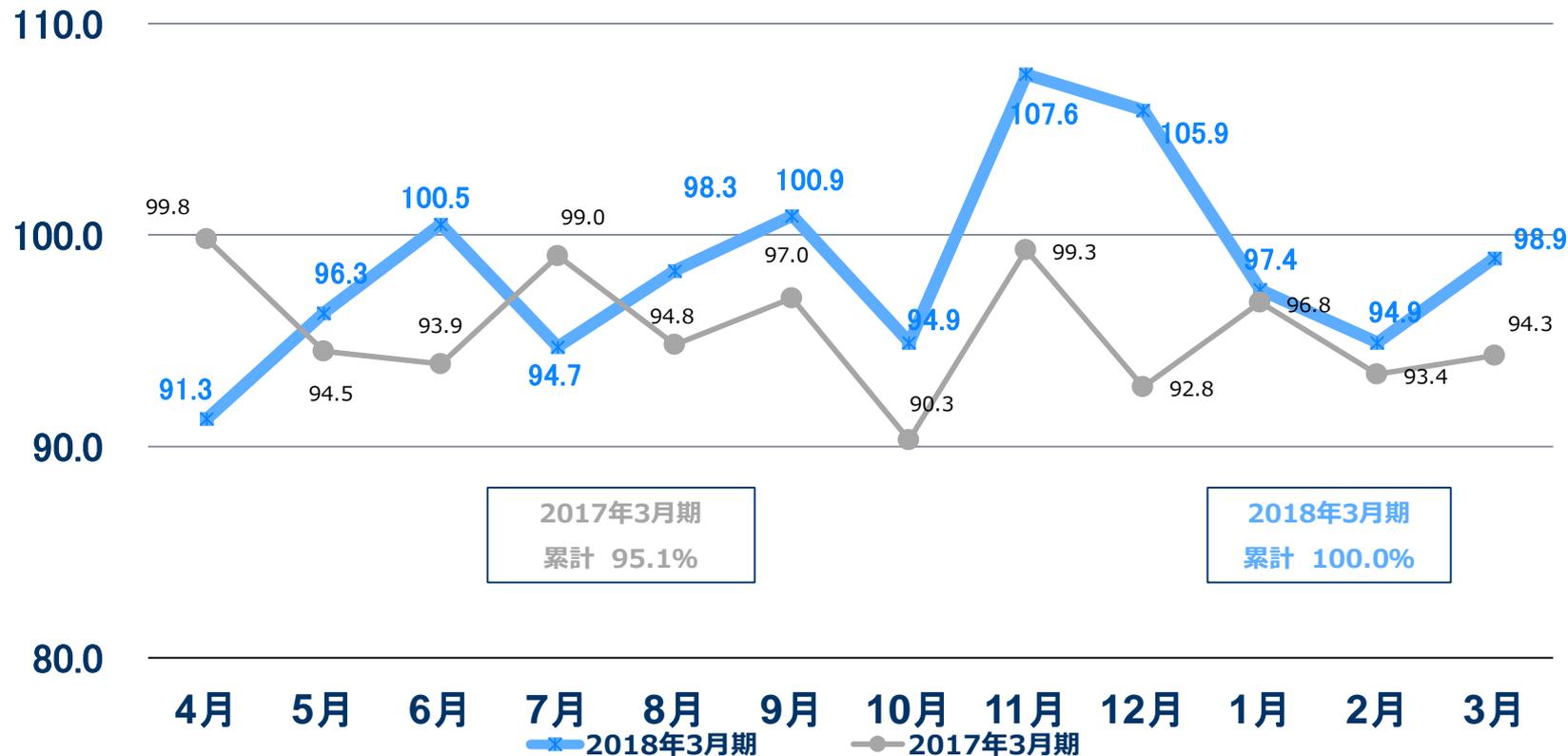
※前期実績の合計は、その他事業の△2百万が含まれています

プリント直営店のFC化を推進、モバイルはSBとYMの合同ショップを展開

	2017年3月	2017年9月		2018年3月	
	期末	期末	増減	期末	増減
プラザクリエイト	578	570	△ 8	578	8
プリント事業	487	474	△ 11	480	6
直営店	362	300	△ 62	283	△ 17
FC店 及び 提携先 <sup>ア</sup> プリントコーナ	125	174	49	197	23
モバイル事業	91	96	5	98	2
キャリアショップ	78	83	5	86	3
併売店その他	13	13	0	12	△ 1

最大の商戦である年賀状プリントで前年102.9%と好調、既存店前年比100.0%

(単位:%)



年賀状プリント総受注枚数  
2,930万枚

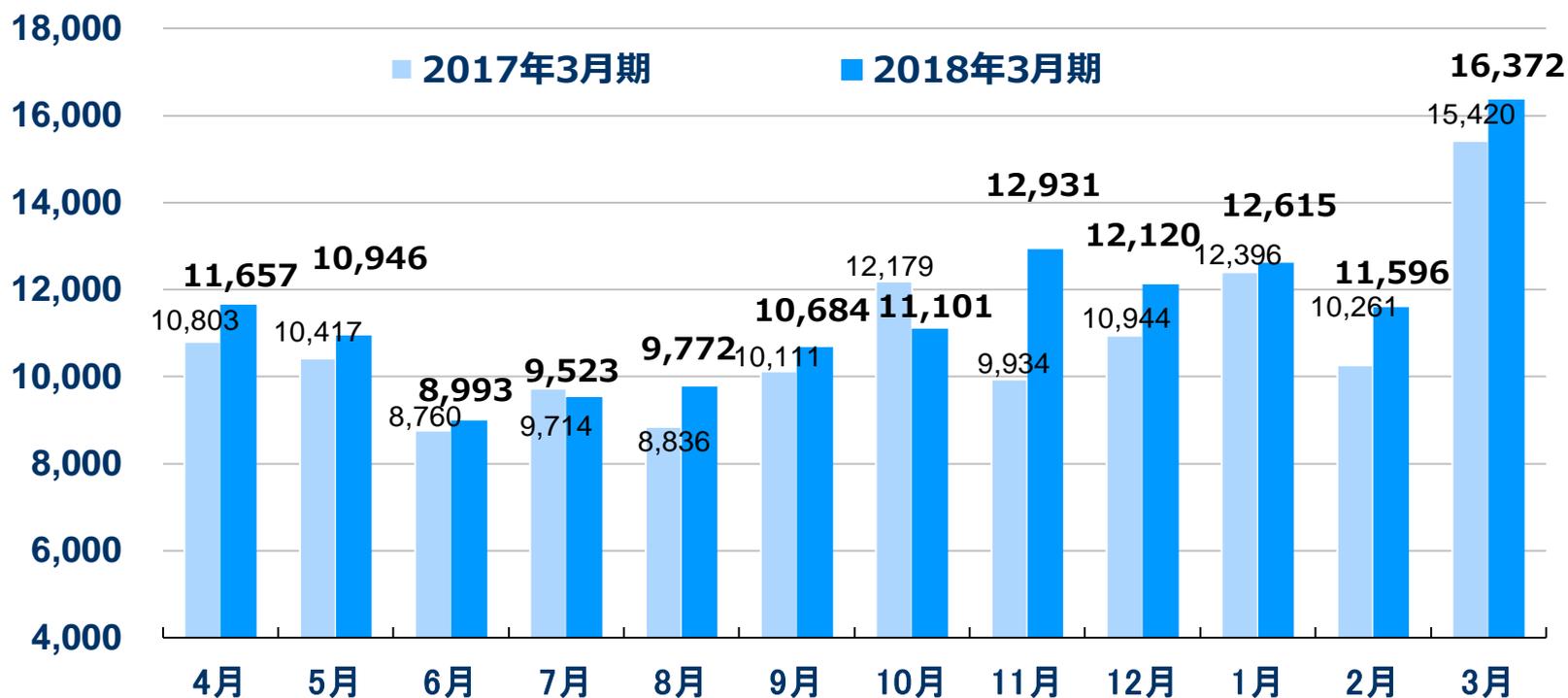
拠点数の拡大に伴い、販売台数が増加

2017年3月期 129,775台

2018年3月期 138,310台

## 月別実績比較

(単位：台)



## Ⅱ. 2019年3月期 取組みについて

2018年度が再成長となる収益力向上期の初年度であり、より新たな価値の創造に取り組む

*Happiness*  
*from Hand to Hand*

しあわせを、手から手へ。

## MOTION & EMOTION

私たちは、他にはないアナログ領域のノウハウに、デジタル領域のテクノロジーを掛け合わせることで、新たなサービス・ラインナップを拡充・進化させていきます。そして、オフラインでもオンラインにおいても人が集まる場所へのさらなる出店を目指して、私たちは〈動き=MOTION〉つづけます。

私たちの原点、プラザクリエイティビティ。それは、お客様ひとりひとりの〈想い・願い=EMOTION〉を何よりも大切に考え、時代にあった幸せのカたちをご提案することです。

1

プリントショップのプラザクリエイトから、デジタルプリント（オンライン、パーソナライズ、カスタマイズ）&イメージングの会社へ名実共に進化させ、その分野でオンリー1・ナンバー1を目指す

2

大きな顧客基盤や店舗網、または優良な物作り工場などを持つ取引先と協業して、当社の強みであるデジタルプリント、デジタルイメージング分野で広くお客様に新しい価値を創造する

2016年 株式会社ヤマダ電機様 …なんでもダビング  
株式会社エディオン様 …おまかせダビング、クリエイターズスタジオ  
2017年 ソフトバンク株式会社様 …スマホプリントステーション

3

デジタルイメージング分野は、証明写真BOXを起点にして、人や物、AIを利用した新しいサービスを提供出来るよう、その分野に対応できる人材育成を優先し、2020年には事業化を目指す

4

パレットプラザ各店舗を直営からのれん分けなどを含むFC化を進め、ネットでは対応出来ない「ヒット価値サービス」を画一的なチェーンストアの域を超えて提供する

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

モデル  
変革期

収益力  
向上期

2017年度売上前年比100%、2018年度は新サービス導入により104%以上

2017年度 直営既存店実績

累計売上前年比 **100.0%**



2018年度 直営店目標

累計売上前年比 **104.0% 以上**

## 主な取り組み

- ・ プリントサービス基本料金(1取引 100円)を実施 2018年7月開始予定
- ・ 編集カンタン & 軽くて持ち運びも便利な「ライトブック」 2018年4月発売開始
- ・ アパレル市場(約9.2兆円)に参入「チームTシャツ」 2018年7月発売予定
- ・ ギフト市場(約10兆円)に参入「パレットプラザのぬくもりギフト」 2018年10月発売予定



最新のユーザーアンケート調査によると、スマートフォンで月に2~3回以上写真を撮影する15歳~69歳の男女801人のうち、スマートフォンで撮影した写真をプリントしたい人は全体の69.9%で、プリント理由は「思い出を形に残す」「写真の整理」「人へのプレゼント」が上位という結果



ユーザーのニーズに対応したサービス開発を今後も取り込んでいく

出典：日本フォトイメージング協会×MMD研究所

プリント事業の全店舗売上に匹敵する売上高を目指し、総売上高にプラスオン

自社大型工場のデジタル画像技術を活用した新たな商品やサービスを開発し、新ブランドにてオンライン販売を実施

- ・チームウェア（Tシャツ、ポロシャツなど） 6月中旬スタート予定
- ・企業向けデジタル印刷作成サービス 年内スタート予定
- ・スマホアプリの年賀状プリントサービス 年内スタート予定
- ・他社との協業によるオリジナルサービス 年内スタート予定



## 引き続きキャリアショップの出店を継続

### 高い顧客満足度

KDDI(auショップ池上店)で2018年度「CXサックスプログラム」首都圏No.1を受賞

▶ プリントショップ×モバイルショップの融合から生まれたお客様にご満足いただけるサービスを今後も提供

### ショップ展開

2017年度出店 9店

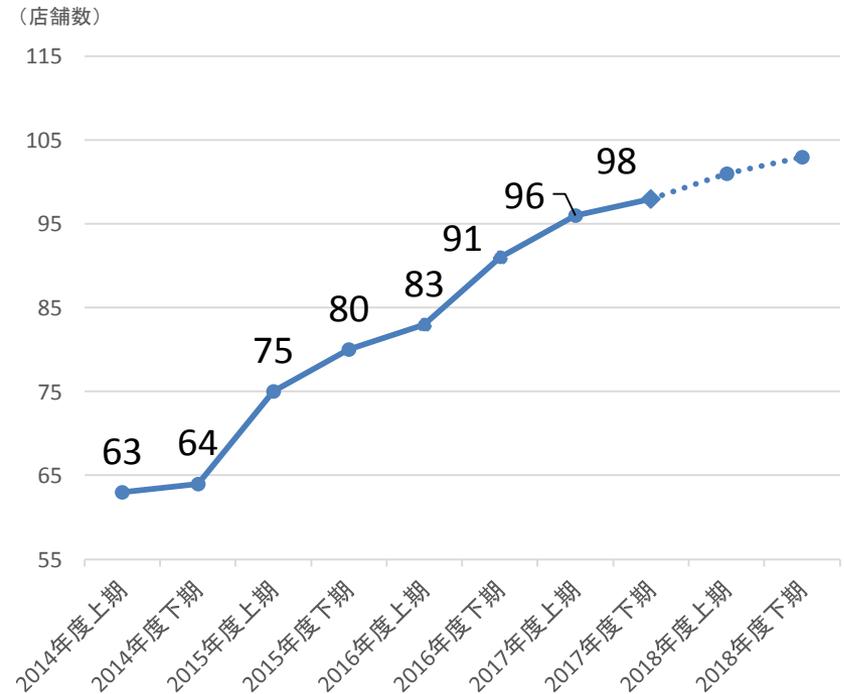
2017年度リニューアル(合同ショップ化) 4店

※今後も既存店の合同ショップ化(SBショップ+YMショップ)が進む見込み

### キャリア別店舗数推移

	2017年3月	2018年3月	増減
ソフトバンク	32	37	5
ワイモバイル	44	47	4
au・その他	7	7	0
携帯の王様	8	6	-2
<b>合計</b>	<b>91</b>	<b>98</b>	<b>7</b>

### ＜店舗数推移＞



※1 「CXサックスプログラム」とは、新規の販売力とオプションの添付率に加え、Webのアンケートでお客様から評価をいただいた内容と、具体的な取り組み、この全ての総合的に評価する賞である

「スマホ＝カメラ」というシナジーを生かし、スマホユーザ向けサービスを創造

## ソフトバンクショップ 展開

「スマホプリントステーション」として  
全国43店舗に設置



来店前に写真選択が可能な専用アプリ「店プリ for Softbank」もご用意



## キャリアショップ+フォト&カフェ 展開



ソフトバンクショップ+ワイモバイルショップ  
+フォト&カフェで顧客満足度アップ

## 家電量販店 展開

『Creators Studio supported  
by PALETTE PLAZA』  
エディオン蔦屋家電1階に展開実施中



## モデル変革後の各事業の取り組みで着実な業績回復へ

(単位：百万円)

	2019年3月期			2018年3月期	
	計画	構成比	前期比 増減額	実績	構成比
売上高	22,000	100.0%	△ 172	22,172	100.0%
営業利益	300	1.4%	239	61	0.3%
経常利益	300	1.4%	207	93	0.4%
当期純利益	200	0.9%	258	△ 58	-0.3%

本資料に関するお問合せ先  
株式会社プラザクリエイト本社  
社長室 広報・I R 担当  
koho@plazacreate.co.jp

本資料には将来に関する前提・見通し・計画に  
基づく予測が含まれています。  
世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわる  
リスクや不確定要因により実際の業績が記載の  
予測と大幅に異なる可能性があります。